



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485



済生会

わかやま

NEWS

第16号

発行日：2009. 1

～ 理 念 ～

私達は、地域社会に親しまれ、
信頼され、働きがいと誇りを
持てる病院を目指します。

新年のごあいさつ

— 100周年をめぐって —

新年おめでとうございます。済生会和歌山病院は、昨年10月、開院60周年を迎えました。戦後の混乱が落ち着いた昭和23年、和歌山市手平（現・新生町）で6診療科・37床の小さな病院として出発して以来60年、一時は廃院も議論された時期がありましたが、市民の熱意、関係機関のご支援、職員の努力に支えられ、今日の日を迎えることができました。60歳といえば人生では還暦、暦を振り出しに戻し、もう一度新たな目標におがって出発する節目の年です。済生会和歌山病院も、立派な病院として100周年記念を迎えられるように、職員一同心を新たに再出発したいと思えます。今後も、地域社会に親しまれ、信頼され、働きがいと誇りを持てる病院を目指して頑張りますので、ご支援・ご協力お願い申し上げます。



当院が現在地に移転して今年で6年目を迎えますが、年々患者数、各種検査件数、手術件数などが増加しており、地域の皆様の信頼に答えられる病院になってきたと喜んでおります。また昨年6月、看護師を増員し7：1入院基本料を取得できました。ナースが増えたことで、今までよりきめ細かい看護ができるようになり、忙しいナースにも笑顔が増えるのではないかと期待しております。設備面では、一昨年末に購入した最新の64列CTが順調に稼働、CT検査件数は昨年より約1300件増加し、マンモグラフィーも順調に検査件数を伸ばしております。

しかし、今後も続く予測される厳しい医療環境の中で、次の100周年に向かって生き残るためには、200床という規模と限られた診療科の機能と特性を明確にし、安全で質の高い医療を提供していかねばなりません。診療部門では、消化器内科および外科を中心とした消化器疾患の治療、糖尿病代謝内科による糖尿病センター、整形外科による各種関節疾患と脊椎・脊髄疾患の治療、小規模病院の連携の良さを生かした循環器内科・糖尿病内科・心臓血管外科・脳神経外科・眼科・腎センターによる「頭のとっぺんから足の先までの血管病変」の治療などに特化したいと考えています。しかし、そのためには、診療所の先生方との病診連携が今以上に大切になります。そこで、済生会和歌山病院・登録医制度を立ち上げます。これは、紹介や逆紹介をしやすくするため、登録医の先生方に、得意な領域、紹介したい疾患や患者層、受け入れ可能な疾患や治療、例えばインシュリン治療をやっていただけるか、インターフェロン治療や不整脈のワーファリン治療はどうか…など、先生方の要望や受け入れ可能状況などをお聞きすることで、連携をより密にしたいと考えているのです。すでに、大腿骨頸部骨折や脳卒中の地域連携パスを運用していますが、他の部門にも連携を拡大していきたいと考えております。今後も、地域の先生方と顔の見える連携を深めたいと願っておりますのでよろしくお願い致します。

院長 林 靖二

禁煙外来1年を振り返って

循環器内科 木村 桂三

済生会和歌山病院は日本循環器学会の関連施設であり、そこには禁煙外来を必ず開設しようと学会で目標設定されています。また、当院は敷地内全面禁煙ですから、入院中は患者さんに禁煙していただかないといけません。

喫煙習慣はニコチン依存症という病気です。きちっと治療していかないと禁煙は難しいため、単に禁煙を押し付けるだけでなく、それなりのケア体制が必要不可欠だと考え昨年5月より禁煙外来を開始しました。

河原看護師長をはじめ専任スタッフの協力のもと昨年は50人の患者さんの治療にあたりました。その間、外来や市民講座での禁煙相談、『ビューティフル・ストップ（禁煙して気持ちも体もきれいになりましょうという意味）』というパンフレットを作成して、一人でもたくさんの喫煙者が受診していただくように努めてきました。

本年5月からは新しい禁煙治療補助薬のチャンピックス®が発売され、その効果がマスコミで大きく取り上げられたこともあり、患者さんは随分増えました。一人の患者さんの説明にかなり時間がかかりますが、本年度はなんとか200人くらいを治療できそうです。ところで、和歌山市の喫煙人口はざっと10万人、本当に微力ですがこれは続けていかなければならないと思っています。



看護部教育体制について

教育I委員会

看護部では卒後3・4年目看護師を支える教育体制として、私達教育I委員会において、卒後教育年間プログラムに沿って活動しています。また、准看護師の移行教育の2年目看護師の担当も行っており、卒後3・4年目移行教育の教育目標にメンバーシップ・リーダーシップ・プリセプターシップの理解と実践を掲げ研修を企画しています。

具体的な活動として、私達4名の担当メンバーは年に2回の研修を企画・運営し、各部署から2~3名が参加します。本年度第1回目の研修が7月に行われました。参加者は、現状の悩みなどを共有することができ、各部署で取り組む教育であるとの再認識になりました。

また研修の企画・運営を行うにあたり、私達は今年7月に院外研修に参加しました。そして教育目的が達成出来る様にその学びを委員会内で伝達し、メンバー各自が自己研鑽に努め共に成長出来るよう取り組んでいます。今後も研修対象者が、「学びたい」と思い、和めるような雰囲気づくり・環境を目指し、力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。



研 修 会

第32回 和歌山東臨床研究会

- 日 時 2009年1月24日(土) 15:00~17:00
- 場 所 ダイワロイネットホテル和歌山

一般演題 座長 済生会和歌山病院
糖尿病代謝内科部長 江川 公浩
「治療に苦労した再発乳癌の1例」
済生会和歌山病院 外科部長 重里 政信

特別演題 座長 さわ内科医院
院長 澤 久
「PEG（経皮内視鏡的胃瘻造設術）とは？」
～当院でのPEGの現状について～
済生会和歌山病院
消化器内科医長 山原 邦浩

参加ご希望の方は地域医療連携室までご連絡下さい

言語聴覚療法開設 ～言語障害、嚥下障害の支援～

リハビリテーション科では、理学療法、作業療法に加え、昨年度より言語聴覚療法を開始しました。

言語聴覚療法とは、主に脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷といった脳血管障害によって生じる言語障害、高次脳機能障害、嚥下障害に対して評価、訓練、助言などを行います。

言語障害には、失語症、構音障害などがありますが、いずれも周囲とのコミュニケーションが難しくなることによって、日常生活に支障をきたします。見た目からは障害がわからないこともあり、周囲の理解が得られにくいこともあります。そのような状態に患者さんご本人だけでなく、ご家族など身近な方も困惑されることがあります。

また嚥下障害では、食事という生活の中での楽しみに問題が生じるため、患者さんの生活の質が低下してしまいます。患者さんによって症状は様々ですが、これらの患者さんそれぞれに応じたアプローチを行い、コミュニケーションや摂食の問題が少しでも改善し、その方の生活の質の向上の手助けになるよう援助していきます。病気が発症してまもない急性期から、回復期の方までのリハビリに加え、退院後もリハビリが必要とされる方には、外来でのリハビリも実施しています。

昨年度は言語聴覚士1名でしたが、今年度1名増員となり、現在言語聴覚士2名で、リハビリテーションサービスを行っています。言語聴覚療法を必要とされている方に、今後さらなる援助ができるよう、充実させていきたいと思っております。



【地域医療連携室利用紹介患者数】

平成20年8月…173件 9月…219件 10月…230件 11月…137件
のご利用頂きありがとうございました。

多田内科 多田 正己先生

平成2年6月、真砂町バス停前の東洋ビル1階に糖尿病と甲状腺疾患の専門クリニックとして開業しました。特に糖尿病患者さんの教育に力を注ぐため、火曜日の午後に糖尿病療養指導士の管理栄養士と看護師とともに個別指導、栄養指導を行ってきました。初診の患者さんや御家族とも親しくなれ自己満足しています。

開業当初は前に勤務していた和歌山日赤医療センターを中心に病診連携を行っていましたが、済生会病院が移転してから、院外倫理委員として倫理委員会に参加させて頂き各科の先生方のご活躍を目の当たりにして深く感銘しました。それ以後先生方に色々とお世話になっています。また地域医療連携室のスタッフの皆様による迅速な先生方との連絡や予約対応では患者さんからいつも感謝されています。

現在和歌山市医師会活動として糖尿病地域連携クリニカルパスの作成に努めていますが、この作成にも糖尿病代謝内科江川公浩部長の多大なる御尽力を頂き、地域の糖尿病診療のレベルアップを目指し、網膜症、腎症を予防したいと考えています。

今後済生会和歌山病院の益々の発展をお祈りします。



济生会和歌山病院外来診療予定表

(平成21年1月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金
内 科 糖 尿 病 ・ 代 謝 内 科 消 化 器 内 科	2 診	山原 邦浩	—	山原 邦浩	井関 良夫	川口 雅功
	3 診	文野 真樹	—	川口 雅功	梅田 恭史	文野 真樹
	4 診	梅田 恭史	江川 公浩	荒古 道子	江川 公浩	荒古 道子
循 環 器 内 科	5 診	木村 桂三	大鹿 裕之	尾鼻 正弘	木村 桂三	大鹿 裕之
放 射 線 科		—	—	野村 尚三	—	—
脳 神 経 外 科	7 診	仲 寛	中川 真里	乾 芳郎	仲 寛	林 靖二
	8 診	乾 芳郎	—	—	林 靖二	—
外 科 ・ 心 臓 血 管 外 科	8 診	—	高垣 有作	—	—	岩橋 正尋
	9 診	重里 政信	吉田 稔	重里 政信	岩橋 正尋	中村 恭子
	10 診	岩橋 正尋	—	—	—	—
整 形 外 科	13 診	延與 良夫	船岡 信彦	新患診	松崎 交作	船岡 信彦
	14 診	北野 岳史	納田 和博		納田 和博	延與 良夫
リハビリテーション科	6 階	担 当 医	西田 秀樹	西田 秀樹	担 当 医	担 当 医
耳 鼻 咽 喉 科	15 診	医大応援医師	—	医大応援医師	—	—
腎 セ ン タ ー	2 階	—	—	—	岡本 昌典	—
眼 科	2 階	大川記羊美	大川記羊美	—	藤田 周子	友寄 勝夫
皮 膚 科	2 階	上中智香子	—	—	山本 有紀	—
泌 尿 器 科	2 階	—	—	佐々木有見子	—	新谷 寧世

※内科 井関（一般） 川口（肝／消化器）
江川（糖尿病・代謝） 文野（肝／消化器）
荒古（糖尿病・代謝） 山原（肝／消化器）
梅田（糖尿病・代謝）

【受付時間】 午前（全科） 8時45分～11時00分
(但し、予約患者さまは除く)

*土曜日は休診ですのでご注意ください。

肝臓病教室

日 程：1,3,5,7,9,11月の第3土曜日
時 間：午前10時30分～
場 所：济生会和歌山病院 7階 多目的ホール

糖尿病教室

日 程：毎月の第3水曜日
時 間：午後2時～午後3時30分（要予約）
場 所：济生会和歌山病院 7階 多目的ホール

診療案内

診 察 日：月～金曜日
受 付 時 間：午前8時45分～午前11時（但し、予約患者様はこの限りにあらず）
休 診 日：土・日・祝祭日（年末年始）
面 会 時 間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187